



# PROGRAM NOTE



2016年1月

こころにとどくラジオ

出演 尾崎久子

PBA「世の光」1978年7月29日放送

「放送していちばんうれしいことは何ですか」とよくきかれますが、そうですね。やはり放送をきいてくださっている聴取者の方々と心のふれあいではないでしょうか。日本ではここ数年「BCL ブーム」といって、とくに若い人たちの間で海外放送をきくことが活発になって、その数は3百万ともいわれています。明日をなう若者たちに海外に大きく目をひらかせるためにも、またく若いうちにあなたの造り主をおぼえよと聖書にあるように、神がつくられた世界を知り、また造られた私たちを愛し、育ててくださる神さまを知るためにも、本当にやり甲斐のある仕事だとわたしはおもっています。



南米大陸にはブラジルだけで76万という同胞が日本の国土の23倍という広大な土地に住んでいます。短波ラジオは広い範囲にとどく放送だけに、果たしてどこで、だれに、どのようにきいておられるかはよくわかりません。ただ聴取者からいただく手紙だけがたよりでした。私たちが休暇で日本へ一時帰国する3ヶ月ほど前のことですが、ブラジルで農業を営んでおられる小杉春治さんから次のような手紙を受け取ったのです。「はじめてお便りします。アンデスの声を私たちはもう10年近くも聴いてきています。とくに私の母は85歳ですが、アンデスの声が好きで、夕方の放送時間がくるとラジオの前に正座して耳を傾けていました。実は、その母が体調をこわしてしまい、床についたきりになってしまったのですが、先日、その母がわたしにこうたのみました。「自分が生きているうちにぜひアンデスの声に手紙を書いてほしい。わたしがどんなに毎夕の放送をきくことで慰められ、元気づけられたか知れないということを書いてお礼を言っておいてほしい。」

実は母はまともに学校には行かなかったので日本語では満足に手紙が書けないのです。私も小さい時にブラジルに連れてこられて日本語はあまり上手ではありませんが、なんとかここにその手紙を書き終えました。母は放送でよく流される<山路越えて>の讃美歌が大好きで自分でもよく口ずさんでおり、歌詞もすっかり覚えてしまっています。」

この手紙を受け取ったわたしたちは、早速「お便り交換」の番組で紹介することにしました。そして小杉さんの家族にこう呼びかけたあのです。「おばあちゃん、今日のお身体の具合はいかがですか。息子さんがおばあちゃんにかわって書いたお便りを読ませていただきました。長い間放送を聴いてくださりありがとうございます。今日は、おばあちゃんの大好きな<山路越えて>の讃美歌をお送りしますので、この賛美歌をきいてどうか元気を出してください。」スタジオからおばあちゃんにこう呼びかけながらわたしたちは折りをこめてその曲を流しました。

それから2週間後、小杉さんから次のような手紙を受け取りました。「いつものように放送をきいていたら、母の代筆をしたわたしの手紙が読まれ、讃美歌を送ってくださるということで、寝ているおばあちゃんの枕元にラジオを置きました。「おばあちゃん、アンデスの声ですよ。おばあちゃんの大好きな<山路越えて>が放送されますよ」といいましたら「ああ、そうかい」と言って目をつぶって聴いていました。そして、そのまま賛美歌をききながら息をひきとったのです。ああ、なんという有り難いことでしょうか。母は愛唱歌だった<山路越えて>をききながら安らかに天に召されていったのです。」あんな広いブラジルの大地の一角で農地を開拓して生涯を終えられたおばあちゃんには、牧師先生の訪問もなく、友だちとの交わりも難しかったことでしょう。しかし、そのようなひとりの人生を終える老齢の心にも、ラジオが慰めと平安を与えることができたのです。この手紙を受けとった私は「お便り交換」の番組でこの手紙を涙ながらに読ませてもらいました。



どこで、だれが聴いているかわからないラジオですが、しかし、折りにふれて、このような確かな手ごたえを感じさせられることは、放送するものにとって本当に励ましになります。会えるかも知れない。会えないかも知れない。そうした人たちに向かってこれからも呼びかけつづけたいと思っています。

山路こえてひとりゆけど/主の手にすがれる身はやすけし 讃美歌404番

サタデー・トーク

バイブル・トーク

きき手 尾崎一夫 毎週土曜日放送		淀橋教会 峯野龍弘主管牧師 毎週日曜日放送	
1月02日	関西 HCB リスナーの集い in 神戸 (1)	1月03日	年頭所感：新天地をめざして 淀橋教会主任牧師 峯野龍弘
1月09日	関西 HCB リスナーの集い in 神戸 (2)	1月10日	聖書遊覧バス：ヨシュア記 (1) 淀橋教会主任牧師 峯野龍弘
1月16日	中・四国 HCB リスナーの集い in 高松 (1)	1月17日	聖書遊覧バス：ヨシュア記 (2) 淀橋教会主任牧師 峯野龍弘
1月23日	中・四国 HCB リスナーの集い in 高松 (2)	1月24日	リスナーからの「お便り交換の時間」
1月30日	中・四国 HCB リスナーの集い in 高松 (3)	1月31日	聖書遊覧バス：ヨシュア記 (3) 淀橋教会主任牧師 峯野龍弘

放送後の番組は、ホームページ(<http://japanese.reachbeyond.org>)のトップページ左側メニューにある『インターネット放送』のリンクページからお聴きいただけます。(mp3形式)

放送時間：日本時間 午前7時半~8時 17760kHz (再放送) 午後8時~8時30分 15400kHz  
(米国アリゾナ州制作/オーストラリア送信)